

北方領土新聞

兵庫県姫路市立安富中学校

北方領土とその問題について

○北方領土は択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島、多摩島、志丹島、勇留島、秋勇留島、水戸島、貝殻島、の四島のことであらわれます。四島の総面積は5003km²で福岡県に匹敵する大きさです。

○北方領土問題は、今日に至るまでソ連、ロシアによる法的根拠

のない占拠が続いており、日本政府はロシアとの間で四島の帰属の問題を解決し、平和条約を締結するとの一貫した方針の下、粘り強く交渉していきすが、現在北方領土が日本人が住むことが出来ない日本の島とされている事、またそれにより日露の平和条約が結ばれていないこと、これが北方領土問題です。

高校生講師の話も聞いてもう一つ北方領土の問題と言えることがありました。それはごみ問題です。動画を見た時に一部に高く積み上げられたごみの山がとも印象的でした。「人が住んでいるところはともきたないとも言っていました。自然はたくさんあって美しいとも言っていました。これはロシア人がしゃかりとそういすればいいのではと思いましたが、ロシア人は遺産などの保護をしっかりとすると聞いたので生活などもしゃかりときれいにするれば、もと北方領土は良くなるだろうと思っていました。

今の日本とロシアの関係から学んで今後の日露関係について自分の考え

○心づくロシアから北方領土に移住してきた人の間に生まれた子どもは北方領土が故郷になつてゐるのではないのかと思つています。もし、今北方領土が日本のものに正式になるとするともう元島民は喜ぶことだと思います。しかし北方領

土が故郷となつてゐるロシア人からすれば怒りがあるかもしれません。しかしかつての日本も強制送還をよびなされてゐるのでロシアが日本にしたことをやり返されたとも思つています。

もし北方領土が返還されるとなるとい方うかには深い傷ができることば間違いないと考へます。しかし今深刻となつてゐるのが環境問題です。

僕が考へるものとして第一に挙げられるのは日本とロシアとの環境問題についての関係を深めることを第一に北方領土のごみひろいなど一番身近で考へられることをするべきではないのかと思つています。そしてお互いの関係がゆるんだ所で日本の会社等が、ごみ処理場の設置を自然の環境保全に取り組むことが必要だと思つています。今一番僕たちに出来ることは署名運動が一番です。そして次のステップとしてぜひ交流参加などで参るのですね。ぜひとも参加すること大事で、そしてロシア人との交流を深めることが一番大事なことではないのかと思つています。

